

がぎゅうどう きょうへい  
**臥牛洞 狂平** (生没年不詳、江戸時代)

俳人。松山城下(現、松山市)を中心に活動した人。芭蕉十哲の一人で美濃派の各務支考の門で俳諧を学ぶ。支考の25回忌に追善仮名詩を作り、道後円満寺に碑を建立した。『きさらき』を刊行し、松山や風早(現、松山市)近辺の俳人の句を集めている。

## 略歴

生年不詳

宝暦5(1755)年

支考25回忌を機に道後円満寺に仮名詩碑を建立

宝暦13(1763)年

二六庵竹阿を交えて碑前で追善供養

『きさらき』を編集し、刊行

没年不詳

〈関連図書〉

・愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 文学』 愛媛県 1984年

〈ゆかりのある場所〉…(P299, 143)